



第30回都民スポレクふれあい大会 オリエンテーリング競技開催について

2018年9月28日
東京都オリエンテーリング協会

オリエンテーリング概要

1. 競技概要

地図上に示されたチェックポイントを順番に通過し、ゴールまでのタイムを競う競技です。大会主催者はオリエンテーリング専用の地図とチェックポイントを用意し、参加者は地図の他にコンパスとチェックポイントの通過を証明するための電子パンチ用のカードを所持して出走します。

基本的に個人での競技ですが、体験コースはグループでの競技も可能です。



電子パンチユニット

2. 競技用地図

競技用地図は建物・道路の他、植え込みや人工的な特徴物(銅像や塔など)を記号で表記しています。また、立ち入り禁止の区間を表記しています。

公園での競技は縮尺は4,000分の1程度でA4に印刷し、ビニールで封をして配布されます。



電子パンチカード

3. 競技方法

(1) スタート

選手はスタート地点に行き、予め指定されたスタート時刻に出走します。通常は各選手は1分毎に間隔を空けてスタートし、他の選手を追走しないようにします。(基本的に集団で走ることはありません)

(2) 競技

選手は地図と現地を照らし合わせて、指定した順番にチェックポイントに行き、電子パンチユニットにカードを当てて通過の証明をします。

(3) ゴール

ゴール地点にあるゴール用電子パンチユニットにカードを当ててゴールします。ゴール後に競技時間を計算し、順位をつけます。

4. 参加者

親と一緒に参加する幼児から80代の男女選手まで幅広く参加してもらっています。

2017年の大会では一般のクラス150人、体験クラス60人が参加しました。



オリエンテーリング用地図の例
(2017年実施大会の木場公園の地図の一部)



スタート



チェックポイント
(脇の番号が順番を示す)



ゴール



立入禁止

1. 日時

平成30年10月21日(日) 競技: 10:30-15:00(準備撤収含む 9:00-16:00)

2. 参加人数

150人～200人程度

ただし、時間差のスタートのため、同時の競技者は最多時間帯で50人程度

3. 競技クラス

Longコース(個人競技、100人程度)、Shortコース(個人競技、20人程度)、

体験コース(個人およびグループ、50人程度)

4. 場所

新宿中央公園および東京都庁

受付・集合場所は新宿中央公園
の新宿エコギャラリーを予定
(新宿中央公園と打合せ済)



チェックポイントの設置物

以下のチェックポイント設置物を利用予定です。

チェックポイントはオレンジと白のフラッグが目印となり、上部に電子パンチユニットがあります。

参加者は電子パンチカードをユニットにはめて通過証明を行います。

■電子パンチユニット(フラッグつき) (幅30cmx奥行30cmx高さ80cm)



電子パンチユニット



電子パンチカード



設置例(植え込みの角)

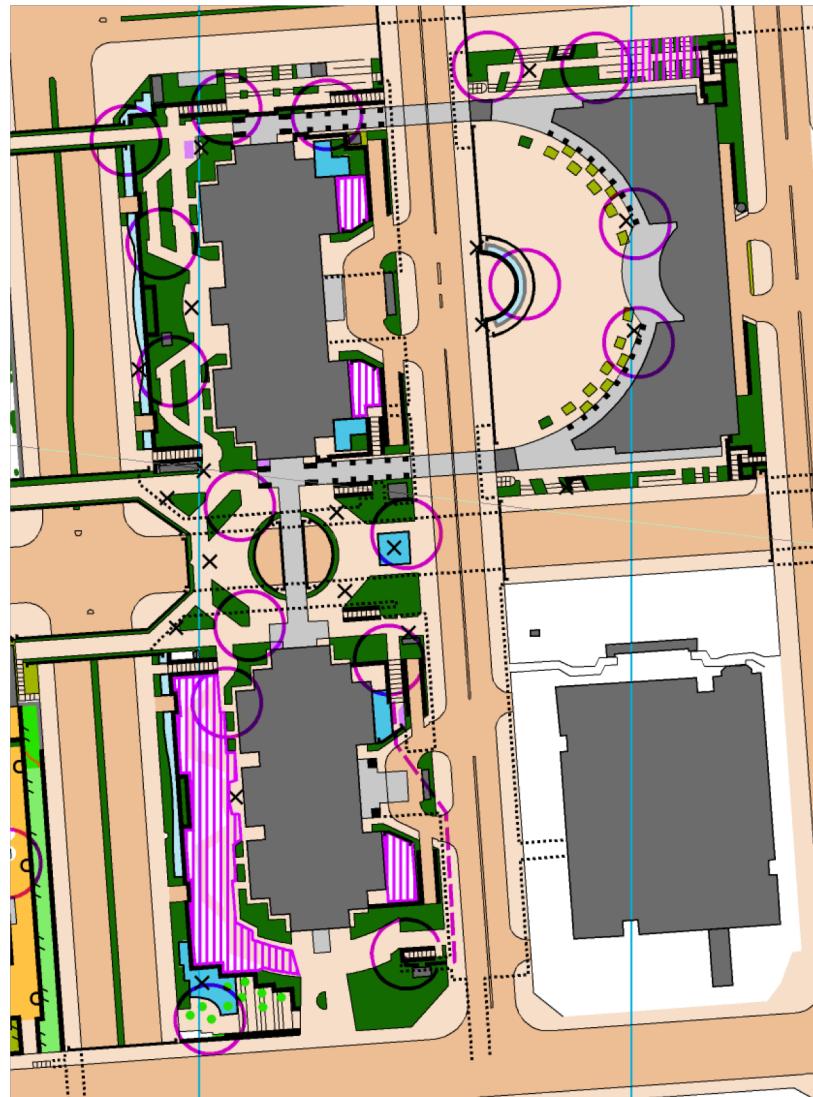
地面に置いて設置
台座部分に水を入れて重し
とし、容易には倒れません。

今回の大会では電子パンチは**非接触式**のものを利用するので
選手がパンチユニットには触れません。
→ユニットを倒す可能性は非常に低いです。

チェックポイント設置場所その1(案)

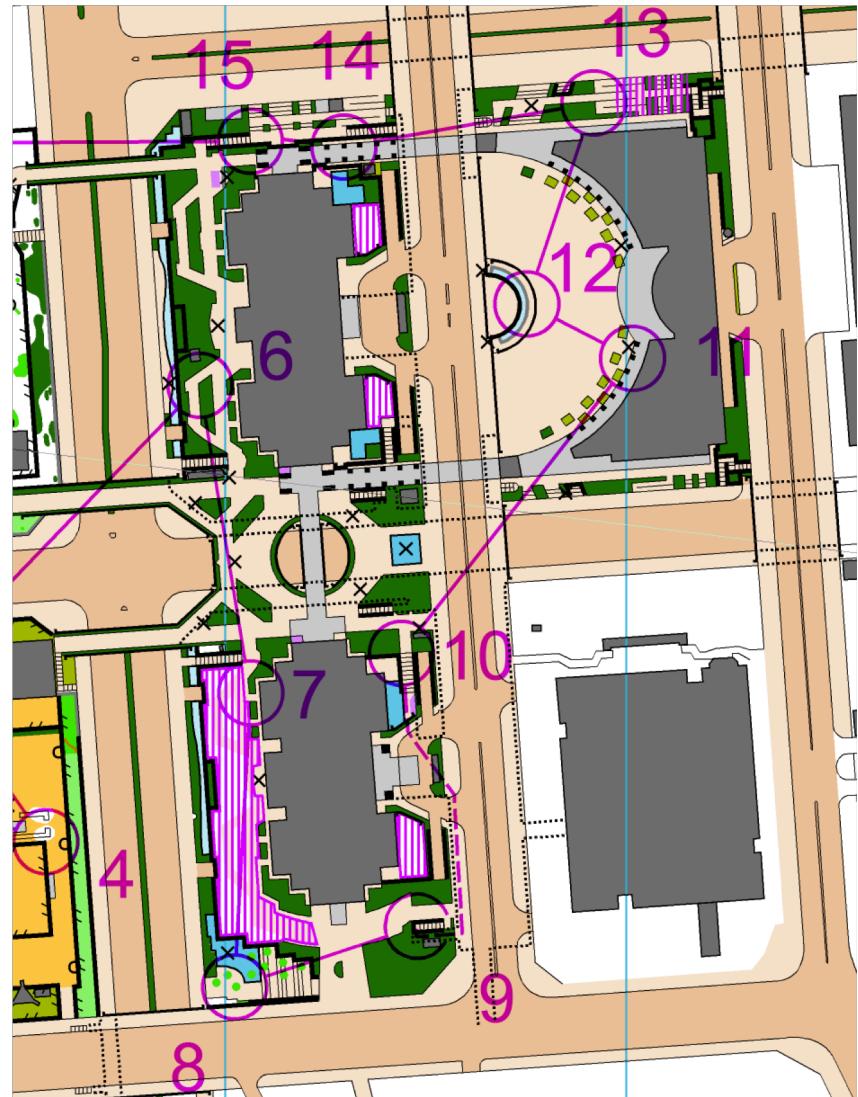


全ポスト



チェックポイントは円の中心に設置されます。

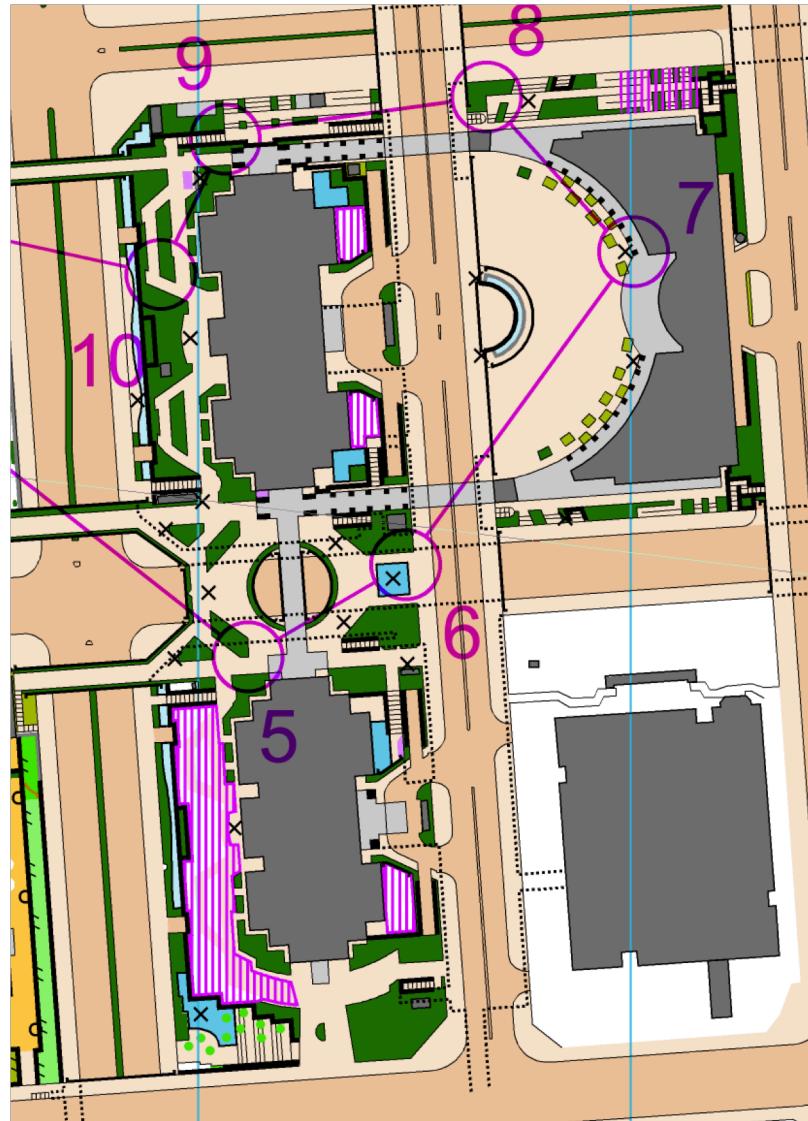
Longコース



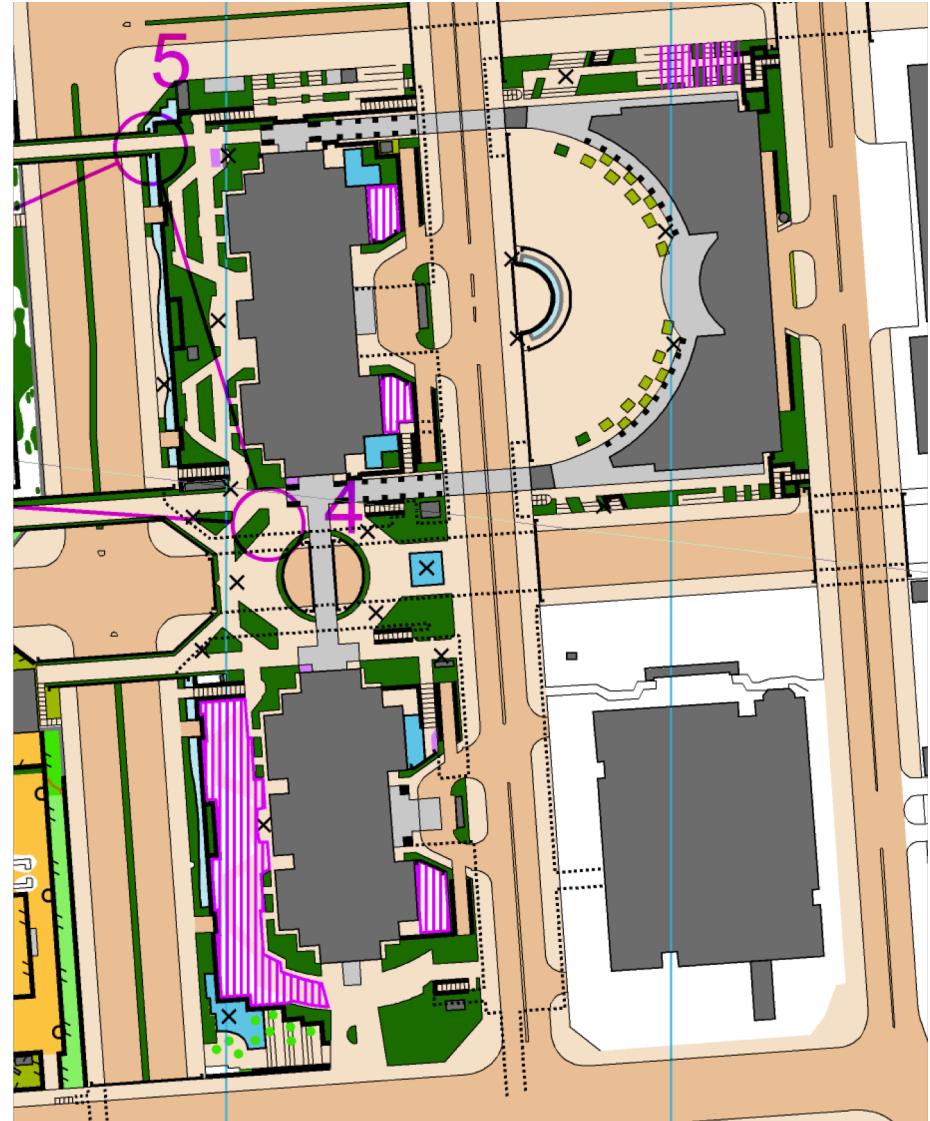
新宿中央公園がスタート・ゴールのため、都庁側は6番目から15番目のチェックポイントです。

チェックポイント設置場所その2(案)

Shortコース



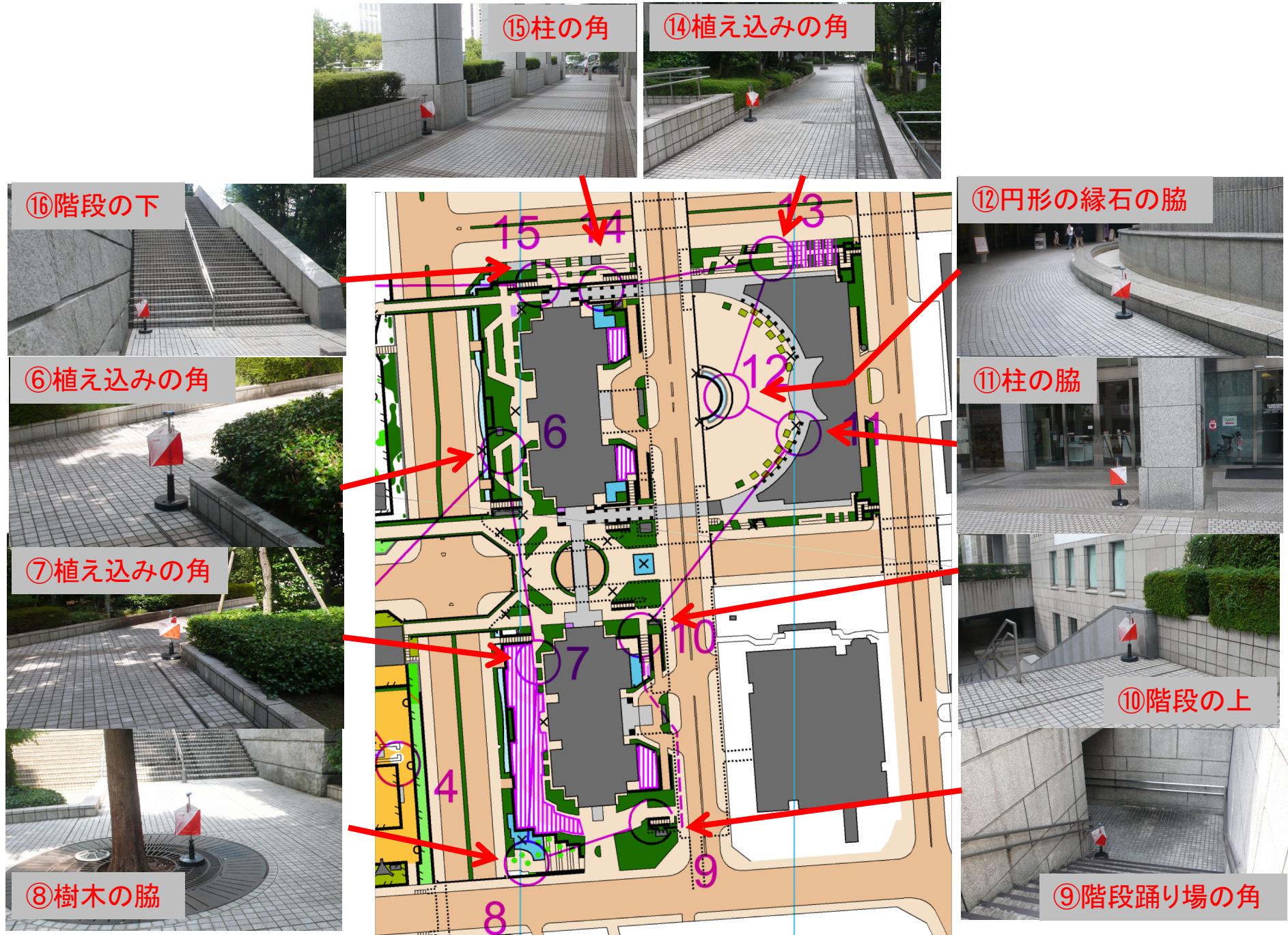
体験コース



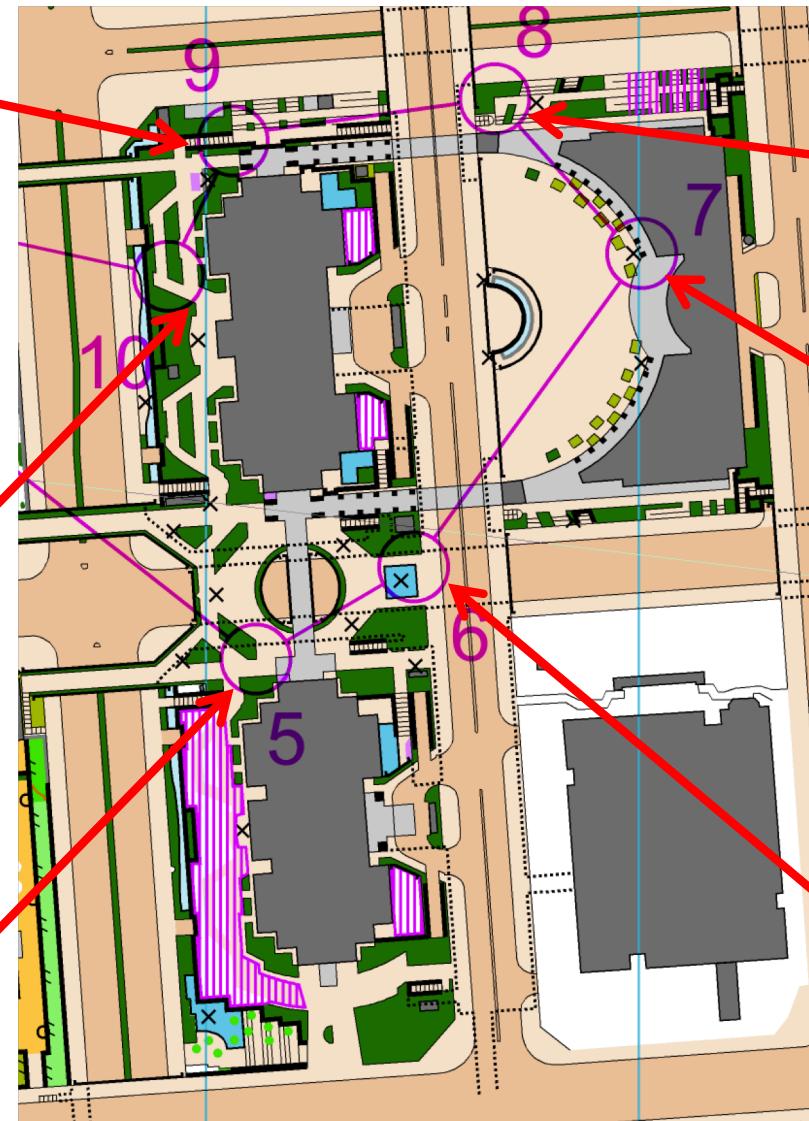
新宿中央公園がスタート・ゴールのため、都庁側は5番目から9番目のチェックポイントです。

新宿中央公園がスタート・ゴールのため、都庁側は4番目から5番目のチェックポイントです。

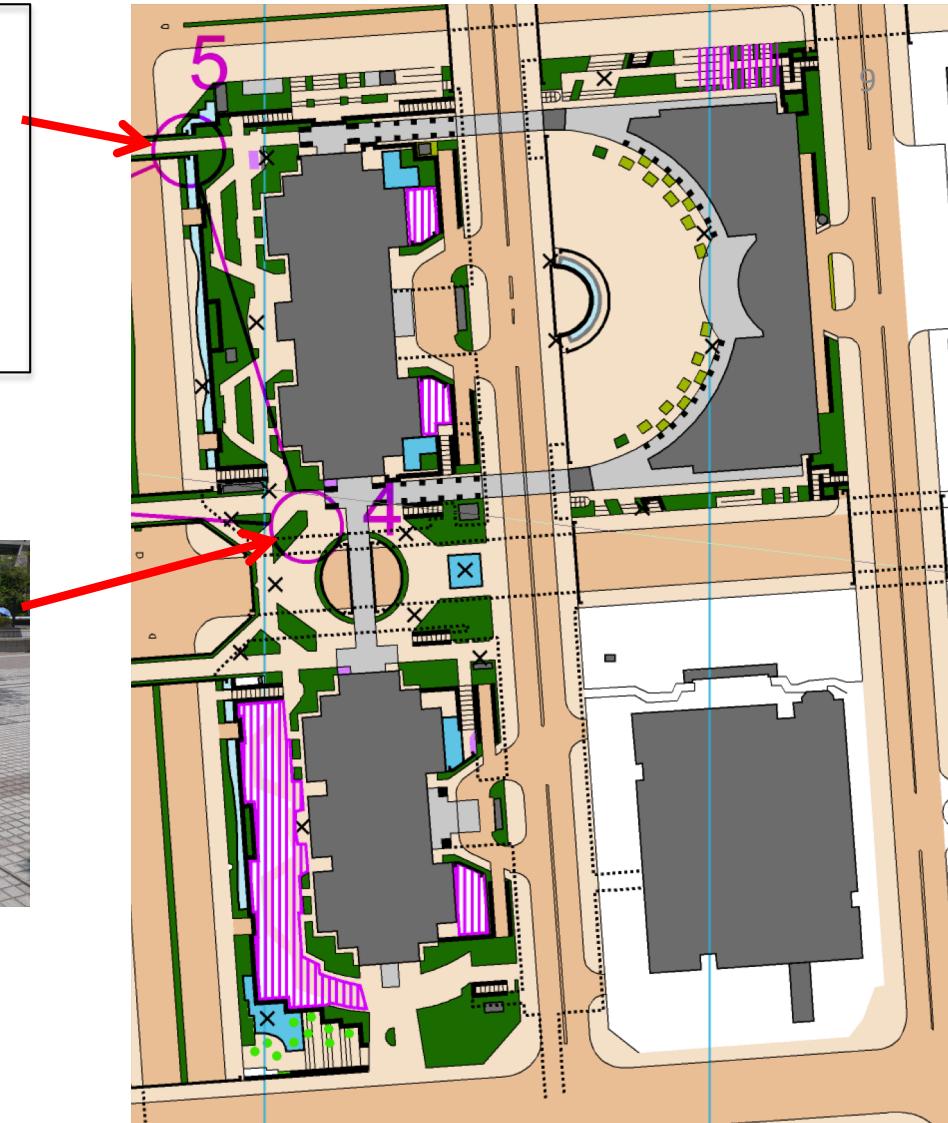
チェックポイント設置場所(写真つき) LONGコース(案)



チェックポイント設置場所(写真つき) Shortコース(案)

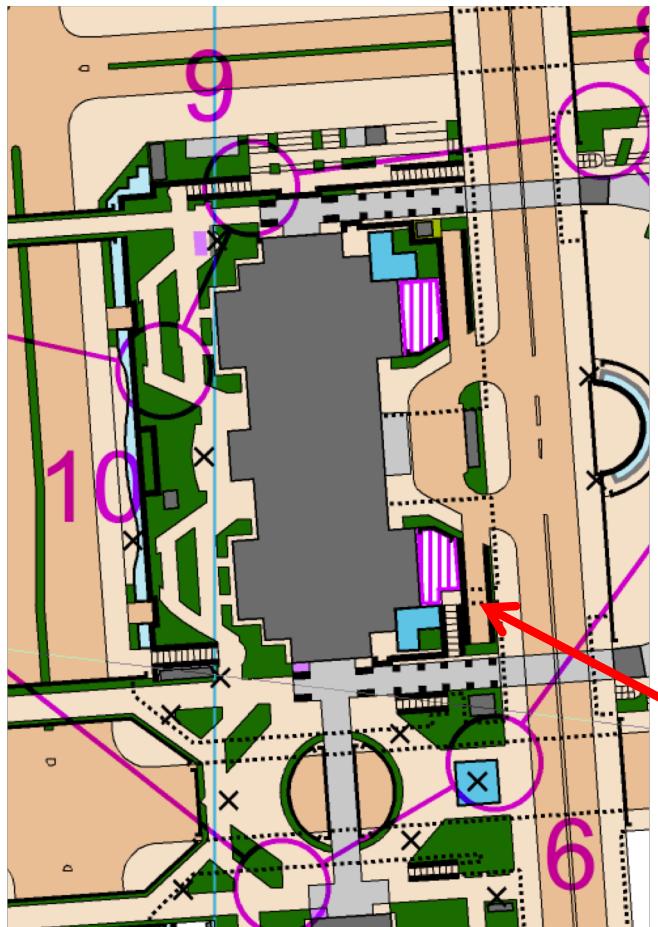


チェックポイント設置場所(写真つき) 体験コース(案)



誘導員の配置が必要な場所(その1)

Longコースの10→11およびShortコースの6→7で、階段通路から1階に出る部分では出た先の左右が見えないため停止が必要ですが、安全確保のため1階への出口部分に誘導員を1名設置します。

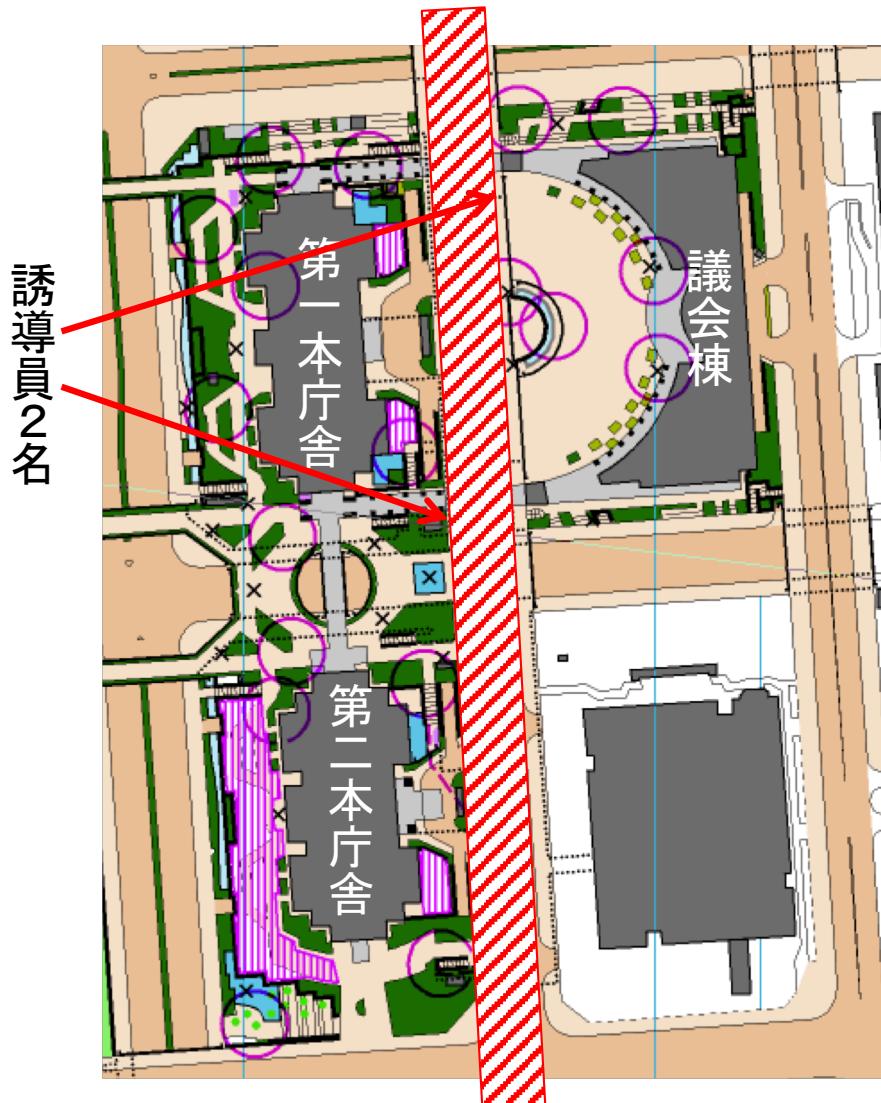


誘導員一名

誘導員はビブスと名札をつけております。



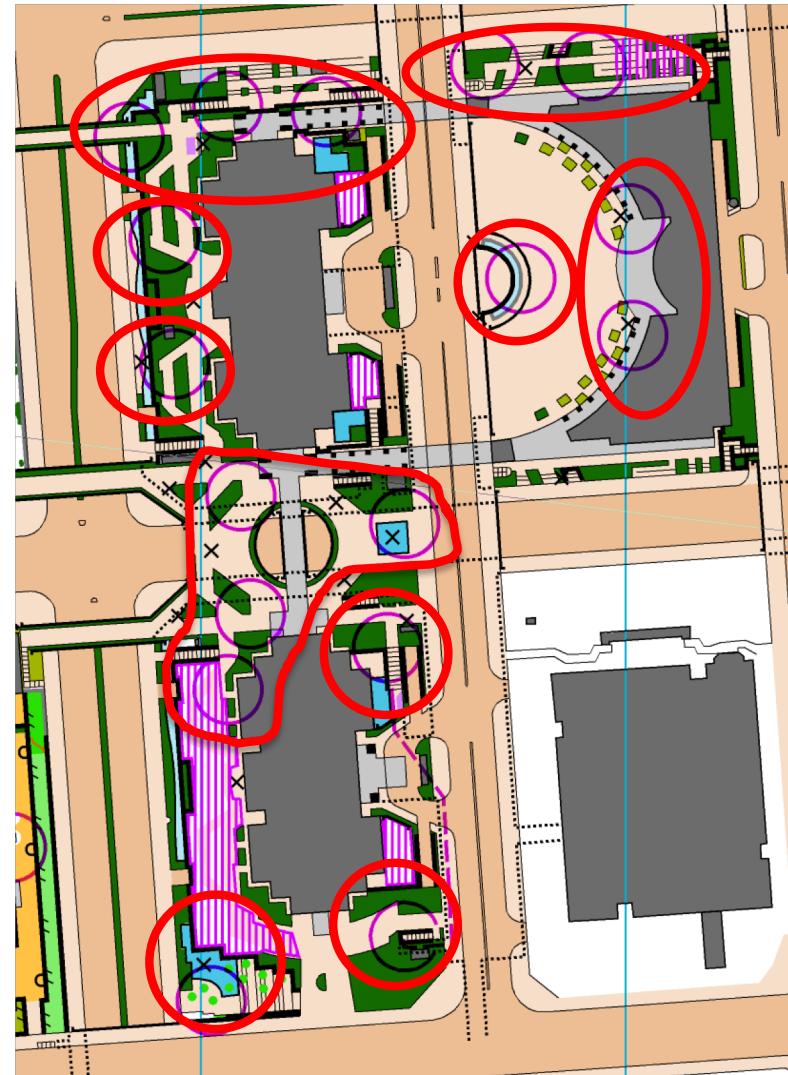
誘導員の配置が必要な場所(その1)



第一本庁舎と都議会議事堂間の通過は1階部分を通過するルートのため、2階の道路は通行禁止としますが、万一勘違いをして道路を渡るランナーが出ないように2階道路脇に誘導員(監視員)を2名配置します。

誤って道路を渡る可能性があるのは左図の矢印の先の地点であるため、それぞれの場所付近にて参加者の動きを見ながら監視します。

設置しているポストについて安全確保のために監視員を設置します。(10名を予定)
また、別途パトロール員を1名巡回させます。



(1)破損回避の対応について

競技を行うにあたり樹木や建物等の構造物の破損を防ぐため以下の対策を行います。

①競技にあたって樹木や構造物への破損等が発生しないようにチェックポイントの設置場所や参加者の動線を十分考慮いたします。

②参加者に破損事故等が発生しないように周知を行います。

③チェックポイントの設置物が転倒しにくくするに重しをつけるとともに、参加者がチェックポイントにぶつかりにくくするに、非接触タイプのチェックポイントを利用します。

(2)破損事故発生への対応について

万一破損事故が発生した場合に備え、以下の行事賠償保険に加入いたします。

保険会社:AIU損害保険株式会社

保険の種類:賠償責任保険(企業用)

契約者:公益社団法人日本オリエンテーリング協会

(行事申請により東京都オリエンテーリング協会運営の行事も対象になる)

保証内容:対人賠償1億円/1人、2億円/1事故

対物賠償500万円/1事故

新宿中央公園の利用

集合会場、スタート、ゴール、チェックポイント(20箇所程度)を想定
会場には新宿中央公園内のエコギャラリー新宿を候補として考えています。

